

キャリアラダーは、患者への安心・安全な看護ケアの提供と自己の能力の自己研鑽ツールとして、専門職である自身の成長とスキルアップのために、組織としては看護師育成のために活用するシステムです。

当院が目指す看護師像に向かって、段階的にスキルアップしましょう。

<当院が目指す看護師像>

1. 患者を一人の人間として尊重し、患者・家族へ優しさと思いやりのある看護ができる
2. 専門職業人として、知識や技術の向上に努めることができる
3. 自部署だけでなく他部署、他部門、さらには地域へと視野を広げ連携できる
4. 組織の理念を理解し、組織の一員として経営に参画できる
5. 社会人として望ましい態度を取ることができる
6. 災害に対する準備ができている

洞爺協会病院 看護師キャリアラダー

NO.1

令和2年12月 看護部

|        |           | レベルⅠ   | レベルⅡ   | レベルⅢ  | レベルⅣ  | レベルⅤ  |
|--------|-----------|--|--|---|---|---|
| 看護実践能力 | ニーズをとらえる力 | レベル毎目標<br>助言を受けてケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる<br>①助言を受けて、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から患者の情報収集ができる<br>②生命の危機に関わる緊急性のある異常を発見し、助言を受けて必要な観察と情報収集ができる  | 患者や状況(場)のニーズを自らとらえ、看護計画が立案できる<br>①身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から患者の情報収集ができる<br>②得た情報をもとに助言を求めて全体像をとらえることができる<br>③標準看護計画を参考にして、看護計画を立案できる   | 患者や状況(場)の特性を踏まえたニーズをとらえ、看護計画が立案できる<br>①身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえて患者の情報収集を行い、全体像をとらえることができる<br>②優先度の高いニーズをとらえた看護計画を立案できる  | 患者や状況(場)を統合してニーズをとらえ、看護計画が立案できる<br>①身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から意図的に必要な情報収集し、潜在的・顕在的なニーズを踏まえた全体像をとらえることができる<br>②起こりうる課題や問題を明確にし、看護計画を立案できる      | 患者や状況(場)の関連や意味を踏まえたニーズをとらえ、看護計画が立案できる<br>①患者を取り巻く複雑な状況や多様なニーズを情報収集し、全体像をとらえることができる<br>②患者・家族の価値観に応じた看護計画を立案できる  |
|        | ケアする力     | レベル毎目標<br>助言を受けて、安全な看護を実践する<br>③指導を受けて、基準手順マニュアルに沿った看護が実践できる<br>④基礎的な看護技術の自立を目指して行動できる   | 患者や状況(場)に応じた看護を実践する<br>④個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づき、看護を実践し評価できる<br>⑤ケアを実践する際に必要な情報を得て、患者の状況に応じた援助ができる  | 患者や状況(場)の特性を踏まえた看護を実践する<br>③個別性に合わせて適切な看護を実践し評価できる<br>④複数の患者を受け持つ中で、優先順位を正しく判断しケアを実現できる<br>⑤患者の生活習慣や価値観、希望などを考慮して、個性をとらえ看護実践に反映できる  | 様々な技術を選択・応用し看護を実践する<br>③幅広い選択肢の中から適切な看護を実践し評価できる<br>④起こりうる課題や問題を予測して予防のための看護を実践し評価できる   | 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する<br>③経験知と新たな知見を統合し適切な看護を実践し評価できる  |
|        | 協働する力     | レベル毎目標<br>関係者と情報共有ができる<br>⑤助言を受けて看護をしていくために必要な情報が何かを考え、関係者に情報を提供し共有できる<br>⑥助言を受けてケアに必要と判断した情報が何かを考え、関係者から情報収集することができる<br>⑦助言を受けて看護チームの一員として役割を理解できる<br>⑧助言を受けて多職種での役割を理解できる<br>⑨指導を受けて、患者の退院後の生活をイメージすることができる<br>⑩報告・連絡・相談ができる | 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる<br>⑥患者・家族に関わる関係者の立場や役割の違いを理解した上で、それぞれと情報交換できる<br>⑦関係者と密にコミュニケーションを取ることができる<br>⑧看護の展開に必要な関係者を特定できる<br>⑨看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換ができる<br>⑩患者に必要な退院支援を考え、助言を受けて実践できる | 患者や関係者、多職種と連携ができる<br>⑥個別のニーズに対応するために、関係者と協力しながら、多職種連携を進めて行くことができる<br>⑦患者・家族とケアについて意見交換できる<br>⑧助言を求めて連携に必要な職種に協力を求め調整できる<br>⑨患者に必要な退院支援を行い、助言を求めて退院調整ができる                    | 患者を取り巻く多職種の力を調整し連携できる<br>⑤結果を予測しながら、院外も含めて多職種連携の必要性を見極め主体的に多職種と協力し合うことができる<br>⑥院外も含めて多職種が役割を發揮し、連携が機能するよう調整できる<br>⑦退院支援・退院調整を計画的にすすめることができる | 患者の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携を活かす<br>④複雑な状況にある患者・家族について、自律的な判断のもと、院外も含めて関係者に働きかけることができる<br>⑤院外も含めて多職種連携が十分に機能するように調整し、その中心的役割を担うことができる<br>⑥各職種を尊重しながら問題解決へ導くことができる<br>⑦複雑な状況かつ多様な価値観を持つ患者・家族について、退院支援/退院調整を計画的に行うことができる |
|        | 意思決定を支える力 | レベル毎目標<br>患者や周りの人々の意向を知る<br>⑪助言を受けて患者家族の思いや考え、希望を知ることができる<br>⑫倫理綱領、倫理原則を理解できる<br>⑬「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」が理解できる   | 患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる<br>⑪患者・家族の思いを考え、希望を意図的に確認できる<br>⑫確認した思いや考え、希望を看護に反映できる<br>⑬倫理綱領、倫理原則に基づきケアに反映できる<br>⑭当院の「適切な意思決定に関する指針」が理解できる   | 患者や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる<br>⑩助言を求めて、患者・家族の意思決定に必要な情報を共有できる<br>⑪患者・家族の意向の違いが理解できる<br>⑫助言を求めて、患者や家族の意向の違いを多職種に代弁できる<br>⑬倫理的問題に気づき相談できる<br>⑭当院の「適切な意思決定に関する指針」に基づくケアができる | 患者や周囲の人々に意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる<br>⑧患者・家族の意思決定のプロセスに看護職の立場で参加し適切な看護ケアを実践できる<br>⑨倫理的問題を顕在化し、解決に向けて行動できる                                    | 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる<br>⑧適切な資源を活用し、患者・家族に意思決定プロセスを支援できる<br>⑨法的及び文化的配慮など多方面から患者・家族を擁護した意思決定プロセスを支援できる<br>⑩常に倫理的視点で物事をとらえ、適切な看護を追求し看護実践できる   |

|  |          | レベルⅠ  | レベルⅡ  | レベルⅢ  | レベルⅣ  | レベルⅤ  |
|--|----------|---|---|---|---|---|
|  | レベル毎の目標  | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることと、看護部の目標を理解する  | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを理解し、看護部の目標を理解して行動する   | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、メンバーシップを発揮して役割を遂行する   | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、リーダーシップを発揮して役割を遂行する   | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、院内外で求められる役割を遂行する  |
|  | 組織役割遂行能力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院の理念・目標を知っている</li> <li>② 看護部の目標を知っている</li> <li>③ 医療安全マニュアル・感染対策マニュアル・災害マニュアルがあることを知っている</li> <li>④ 注射や処置を実施した際のコスト請求方法を知っている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院の理念・目標を理解している</li> <li>② 看護部目標・自部署の目標を理解している</li> <li>③ 医療安全マニュアル・感染対策マニュアルを理解している</li> <li>④ 災害時の自らの行動を理解している</li> <li>⑤ 経済性を意識して物品を使用している</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護部・自部署の目標達成のための活動に主体的に参加している</li> <li>② チーム内での役割を理解し、メンバーとしての役割を実践している</li> <li>③ 委員会のメンバーとして課題達成に向けて役割を発揮している</li> <li>④ 後輩育成に携わっている</li> <li>⑤ 医療事故防止・感染対策を後輩に指導している</li> <li>⑥ 災害時の院内スタッフの動きや各部署の連携について後輩に指導している</li> <li>⑦ 時間管理を行い経済観念をもって行動している</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護部・自部署の目標達成のための活動にリーダーシップを発揮している</li> <li>② チームメンバーとコミュニケーションを図り時間調整や業務調整をしている</li> <li>③ 委員会活動でリーダーシップを発揮し課題解決に向けて取り組んでいる</li> <li>④ 他部署・他部門と情報交換し協力関係を築いている</li> <li>⑤ 院内の研修・勉強会の目的を理解し協力している</li> <li>⑥ 自部署における診療報酬の仕組みについて理解している</li> <li>⑦ 自部署の経営的課題の解決に向けた取り組みを行っている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 病院・看護部・自部署の目標達成のための活動の推進役を担っている</li> <li>② 看護師長・副師長の補佐をしている</li> <li>③ 効率的、効果的、経済的に業務が遂行できるように指導できる</li> <li>④ 教育プログラムの作成に主体的に参加し、プリセプターやスタッフの支援を行っている</li> <li>⑤ 病院の経営的課題の解決に向けた取り組みを行っている</li> </ul> |

|        |                |                        |       | レベルⅠ   | レベルⅡ  | レベルⅢ   | レベルⅣ  | レベルⅤ  |                                       |
|--------|----------------|------------------------|-------|--|---|--|---|---|---------------------------------------|
|        |                |                        |       | レベルⅠ<br>洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることと、看護部の目標を理解する | レベルⅡ<br>洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを理解し、看護部の目標を理解して行動する     | レベルⅢ<br>洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、メンバーシップを発揮して役割を遂行する                  | レベルⅣ<br>洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、リーダーシップを発揮して役割を遂行する | レベルⅤ<br>洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、院内外で求められる役割を遂行する        |                                       |
| 社会人基礎力 | 前に踏み出す力（アクション） | 一歩前に踏み出し失敗しても粘り強く取り組む力 | 主体性   | 物事に進んで取り組む力/指示待ちではなく自らやるべきことを見つける力             | ①挨拶や仕事の準備・片づけを自ら進んでしている                                   | ①自己の役割や業務についての疑問を質問し理解しようとしている<br>②部署内・院内の勉強会・研修会に主体的に参加している               | ①物事に対して肯定的で他人のせいでごうなつたと不平・不満を口にしない                        | ①人が嫌がる仕事や困難な仕事を進んで引き受けている                                     | ①上司の指示がなくても今やるべき業務を開拓している             |
|        |                |                        | 働きかけ力 | 他人に働きかけ巻き込む力/やろうと呼びかけ目的に向かう力                   | ②指導に対して感謝の言葉を示し返事をしている<br>③自分のできていること・できていないことを受け止めて説明できる | ③業務遂行上困難なとき、他のメンバーに協力を依頼している   | ②納得してもらうための方法を駆使し、わかりやすく説明している                            | ②チームの問題や課題に対してメンバーとともに、悩み、喜んでいる                               | ②チームの問題や課題に対して解決策を上司に提言している           |
|        |                |                        | 実行力   | 目的を設定し確実に行動する力/失敗を恐れず行動に移し粘り強い                 | ④自分が行いたい看護行為を表明している<br>⑤同僚が困っているときに自分にできることはないか声に出している    | ④上手いかわからないことはその原因や方法について調べている  | ③決められた計画は率先して実行している                                       | ③少なくとも代替案をもって柔軟に対応している  | ③後輩の適正・特性を理解し、機会あるごとに指導している           |
|        | 考え抜く力（シンキング）   | 疑問を持ち、考え抜く力            | 課題発見力 | 現状を分析し目的や課題を明らかにする力                            | ⑥指導されたことをメモしている<br>⑦わからないことは人に聞いたり、本で調べたり、手順を調べている        | ⑤チームの目標に向けて自分のできることはないか考え発信している<br>⑥自己の課題を明確にしている<br>⑦対人関係に関して自己の振り返りをしている | ④自部署の状況から、役割を果たすうえでの自己の課題を明確にしている                         | ④現状と自部署の目標や役割の双方から自己の課題とチームの課題を抽出している                         | ④現状と自部署の目標や役割の双方から自己の課題とチームの課題を抽出している |
|        |                |                        | 計画力   | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力                       | ⑧課題について計画を立てている   | ⑧課題について計画を立て、進捗に影響を及ぼさないようにしている  | ⑤自部署内の会議や係の活動の準備を周到にしている                                  | ⑤無理のない適切なゴールを設定し段階的な方策を立てている<br>⑥自己のキャリアアップを具体的にイメージして自己研鑽できる | ⑤無理のない適切なゴールを設定し段階的な方策を立てている          |
|        |                |                        | 創造力   | 新しい価値を生み出す力/既存の発想にとらわれない                       | ⑨自分が大切にしている看護についてイメージしている                                 | ⑨日常業務のひとつひとつに もっと良いやり方や効率的な方法はないかという視点で取り組んでいる                             | ⑥日常業務のひとつひとつに もっと良いやり方や効率的な方法はないかという視点で取り組んでいる            | ⑦自己の看護師としてのあるべき姿を表現している                                       | ⑥自己の看護師としてのあるべき姿を表現している               |

|        |                 |                        |            | レベルⅠ                                       | レベルⅡ   | レベルⅢ  | レベルⅣ  | レベルⅤ   |  |
|--------|-----------------|------------------------|------------|--|--|---|---|--|--|
|        |                 | レベル毎の目標                |            | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることと、看護部の目標を理解する     | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを理解し、看護部の目標を理解して行動する                        | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、メンバーシップを発揮して役割を遂行する                         | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、リーダーシップを発揮して役割を遂行する                               | 洞爺協会病院の一員であり、かつ専門職業人であることを自覚し、院内外で求められる役割を遂行する                           |  |
| 社会人基礎力 | チームで働く力（チームワーク） | 多様な人々とともに、目標に向かって協力する力 | 発信力        | 自分の意思をわかりやすく伝える力                           | ⑩心配事や分からないことをブリーチンナーに相談している  | ⑩チームカンファレンスなどで発言している<br>⑪結論と経過、自分の意見を区別して説明している<br>⑫業務上の報告、連絡、相談を適切に行っている | ⑦自部署の検討すべき問題や検討時期について提案している<br>⑧聞き手がどのような情報を求めているか理解し伝えている<br>⑨自己の考えを簡潔明瞭に伝えている | ⑧患者・家族や同僚、多職種の感情を害することなく相手の気持ちを尊重しながら自分の考えを伝えている                         | ⑦患者・家族や同僚、多職種が納得できるように自分の考えを伝えている<br>⑧知り得た知識を院内外で積極的に報告し還元している           |
|        |                 |                        | 傾聴力        | 相手の意見を丁寧に聴く力                               | ⑪他の人の話を聞くときには視線を合わせ相槌をうっている  | ⑬患者・家族の苦情や不平に対してその真意を理解しようとしている   | ⑩目標達成に向け他のスタッフのアイデアや考えを上手に引き出している   | ⑨患者・家族や同僚、多職種の要望を良く聴き自分の権限の範囲で対応できることを判断している                             | ⑨患者・家族や同僚、多職種の要望を良く聴き自分の権限の範囲で対応できることを判断している                             |
|        |                 |                        | 柔軟性        | 意見の違いや立場の違いを理解する力/自分のルールややり方に固執しないで相手を尊重する | ⑫相手の話を素直に聞き、かつ自分の理解が正しいか確認している                                       | ⑭自分の考えに固執せず、周囲の意見を取り入れる   | ⑪先輩後輩の意見を取り入れ、より良い案に全面的に協力している  | ⑩多職種の意見を聞き、修正しながら業務を進めている  | ⑩クレーム、問題発生に対して解決に向け多方面の意見を聞き、修正しながら業務を進め、その結果を上司に報告している                  |
|        |                 |                        | 状況把握力      | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力                     | ⑬時間に余裕をもって出勤している<br>⑭上司の指示命令はよく守っている                                 | ⑮どのようなときに報告・連絡・相談を誰にしたら良いか説明できる   | ⑫状況を把握したうえで仕事の優先度をつけている   | ⑪他部署や他部門で行われている事柄に敏感であり、委員会や研修会に参加している                                   | ⑪文献、雑誌、学会などから最新の情報を得て現状を見比べている   |
|        |                 |                        | 規律性        | 社会のルールや人との約束を守る力                           | ⑮服装や言葉づかいは病院の規律に従っている<br>⑯提出期限や指示された時間を守っている                         | ⑯服装や言葉づかいは病院の規律に従っている<br>⑰提出期限や指示された時間を守っている                              | ⑬看護部・自部署のルールを率先して守っている  | ⑫看護部・自部署のルールを遵守し、後輩に注意を促している   | ⑫医療チームの倫理、規律に対し規範をしめしている   |
|        |                 |                        | ストレスコントロール | ストレスの発生源に対応する力/ポジティブにとらえて肩の力を抜く            | ⑰食事をきちんと食べ、睡眠をとり体調を維持している<br>⑱悩みや心配事を相談している<br>⑲自分に合ったリフレッシュ方法を知っている | ⑲翌日のことを考え体調を整える工夫をしている<br>⑲悩みや心配事を相談している<br>⑲リフレッシュしている                   | ⑭自分の長所・短所を理解し和を保つように努力している<br>⑮リフレッシュしている<br>⑯感情のコントロール方法を実践している                | ⑬危機や問題が発生したとき自分の陥りやすい傾向を理解して対処している<br>⑭リフレッシュしている<br>⑮感情のコントロール方法を実践している | ⑬危機や問題が発生したとき自分の陥りやすい傾向を理解して対処している<br>⑭リフレッシュしている<br>⑮感情のコントロール方法を実践している |